



健疾発0423第1号
平成26年4月23日

公益社団法人 全日本病院協会会長 殿

厚生労働省健康局疾病対策課長



手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について

肝炎対策の推進につきましては、日頃から格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ウイルス性肝炎は、国内最大級の感染症と言われており、その対策を総合的に推進するため、平成22年1月、肝炎対策基本法が施行されました。同法に基づき、中長期的な肝炎対策の方向性等を定める肝炎対策基本指針（以下「指針」という。）が平成23年5月16日に告示され、これに基づく取組や周知を行ってきたところです。

また指針では、肝炎検査の実施体制及び検査能力の向上に関する事項として、「国及び地方公共団体は、医療機関に対し、手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果について、受検者に適切に説明を行うよう要請する。また、国は、医療機関において手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明状況等について、実態把握のための調査研究を行う。」とされています。

これを受け、厚生労働省では厚生労働科学研究事業（八橋研究班、加藤研究班）により、手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明状況等を調査しました。今般報告された調査結果によると、手術前等に行われる肝炎ウイルス検査結果について、一部受検者に正しく伝えられていない可能性が示されています（別紙参照）。

つきましては、肝炎ウイルス検査体制の整備、受診勧奨および普及啓発を効果的に推進するため、肝炎ウイルス検査の検査目的や検査結果に関わらず、受検者自身が検査結果を正しく認識できるよう医療提供者が適切な説明を行うことについて改めて御理解いただき、貴団体の会員への周知方お願いいたします。

(別紙)

I. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金「病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究：研究代表者 八橋 弘氏」報告より引用

肝疾患患者以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査（医師向けアンケート）

アンケート配布数 3,239 枚、回収数 2,419 枚（回収率 74.7%）

1-1. 肝炎検査で陽性の結果が出た場合（有効回答者数 1,907 人）

- ・陽性結果を説明している 89%
- ・陽性結果を説明していない 11%

1-2. 肝炎検査で陰性の結果が出た場合（有効回答者数 1,925 人）

- ・陰性結果を説明している 34%
- ・陰性結果を説明していない 66%

II. 平成25年度厚生労働科学研究費補助金「肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究：研究代表者 加藤 真吾氏」報告より引用

病院における肝炎ウイルス検査を含む感染症検査の実態調査（病院向けアンケート）

アンケート配布数 8,559 枚、回収数 1,208 枚（回収率 14.1%）

1-1. 肝炎ウイルス検査結果報告（陽性時）術前スクリーニング時（回答施設数 907）

- ・いつも伝えている 65%
- ・たいてい伝えている 20%
- ・時々伝えている 3%
- ・伝えていない 2%
- ・わからない 10%

1-2. 肝炎ウイルス検査結果報告（陰性時）術前スクリーニング時（回答施設数 907）

- ・いつも伝えている 41%
- ・たいてい伝えている 23%
- ・時々伝えている 12%
- ・伝えていない 12%
- ・わからない 13%

2. 肝炎ウイルス検査結果の通知・紹介に関する取組（1,208 施設、複数回答）

- ・体制整備、指導周知や医療者の活動など施設での取組みがある 55%
- ・特に取組みはしていない 45%